

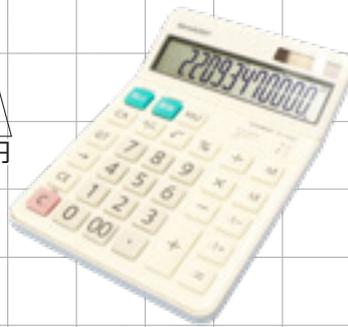
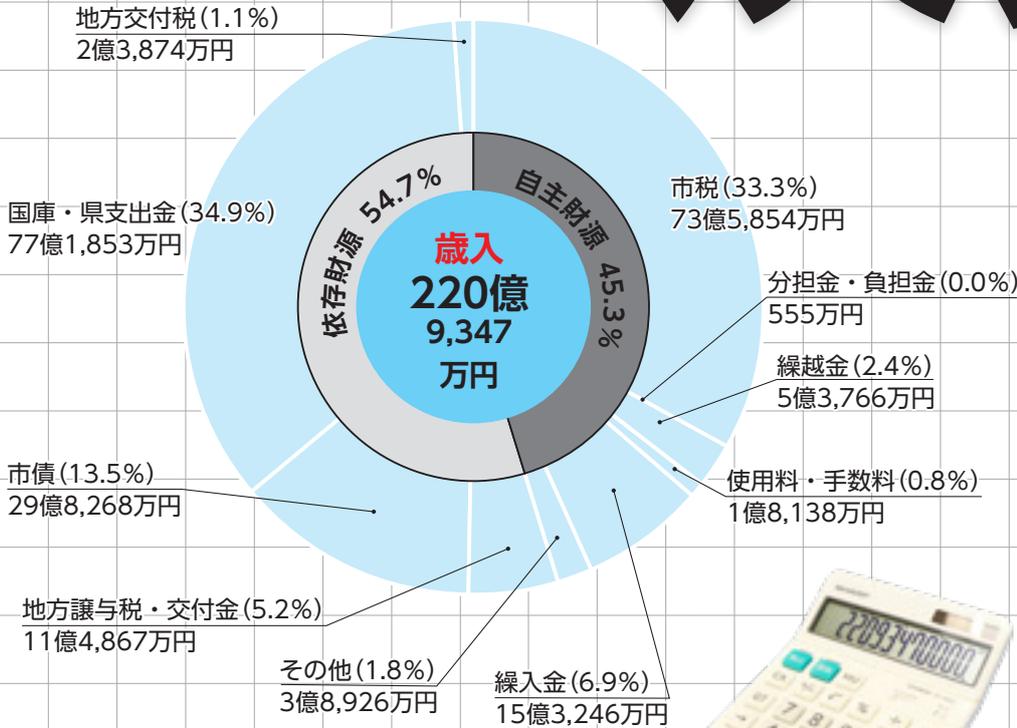
前年度よりも30億2,416万円増額

歳入 220億9,347万円

決算

令和2年度の決算がまとまりました。
一般会計の歳入総額は220億9347万円、
歳出総額は216億6152万円となり、
過去最大の事業規模となりました。

照会 財政課 ☎0537(85)1112



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

決算の概要

令和2年度の一般会計の歳入総額は220億9347万円、歳出総額は216億6152万円となりました。

歳入と歳出の差のうち、翌年度に繰り越すべき財源である1億8444万円を除くと、2億4751万円の実質赤字となります。しかし、前年度からの純繰越金や基金の取り崩しが7億8730万円あることから、実質単年度収支としては5億2526万円の赤字になっています。

未来を見据えた財政運営

歳出総額から計算すると昨年度は、市民1人当たり約69万円が使われたこととなります。事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベントなどが中止となった一方で、落ち込んだ市内経済対策の実施や感染予防対策を重点的に取り組みました。また、予定されていた浜岡中学校や新学校給食センターなどの大規模な整備は順調に進み、令和3年度には無事完了することができました。今後は、ポストコロナへと変化する社会情勢に向け、健全

な財政運営が続けられるよう、財源の確保に努めます。

歳入

令和2年度の歳入は、前年度よりも30億2416万円増額となりました。内訳は、税金などの自主財源が45・3割、国や県の補助金などに頼った依存財源が54・7割です。自主財源は市税や財政調整基金の繰入金の減少により、前年度に比べ11億945万円減額となりました。依存財源は、市債や国庫・県支出金が前年度に比べ40億3254万円増額となり、全体としては41億3362万円の増額となりました。

歳出

令和2年度の歳出は、前年度より31億2987万円増額となりました。令和2年度の主要事業とその決算額は、特別定額給付金やプレミアム商品券の販売など新型コロナウイルス感染症対策に係る事業に37億470万円、浜岡中学校および給食センターの整備に31億72万円、市道整備事業に3億8287万円、市民プールの改修工事に2億615万円となっています。